

第1学年 国語科 学習指導案

日時 令和元年10月1日(火)5校時

学級 1年B組(24名)

場所 2階東側ワークスペース

授業者 教諭 T1 鎌田 久美子

T2 千葉 早依子

- 1 単元名 ポスターセッションをする
アジア州について調べたことを報告しよう

2 単元について

(1)教材観

本単元では、学習指導要領「話すこと・聞くこと」を効果的に指導するために、言語活動例ア「紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動」をもとに「ポスターセッションをする」という言語活動を設定する。

小学校でも、説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動を繰り返し行っているが、中学校では「話すこと」の指導事項ウに「相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること」とあるように、より相手を意識して話すことが求められている。本単元は、相手の反応を踏まえながら分かりやすく話す力を伸長するために適した活動であると考えられる。

(2)生徒観

1学期に行った『『好きなもの』を紹介しよう スピーチをする』という学習では、ほとんどの生徒が聞き手に視線を向けながら話したり、聞いた後に質問したり感想を伝えたりすることができた。スピーチは、日常的に終短活で行っていたり、小学校でも経験したりしているので、あまり抵抗なく行うことができる生徒が多い。

しかし、4月に行った新入生学習状況調査では、「話すこと・聞くこと」の正答率は61.5で、県の正答率64.6より低いという結果であった。特に「話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く」ことが-10.6ポイントと低くなっている。

そこで、本単元では、聞き手の反応を見ながら分かりやすく説明する力を伸ばすとともに、発表を聞くときには、「なぜこの発表を聞くのか」「自分はこの発表についてどう考えているのか」という意識を持たせて聞かせ、「話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く」力をつけさせたい。

(3)指導観

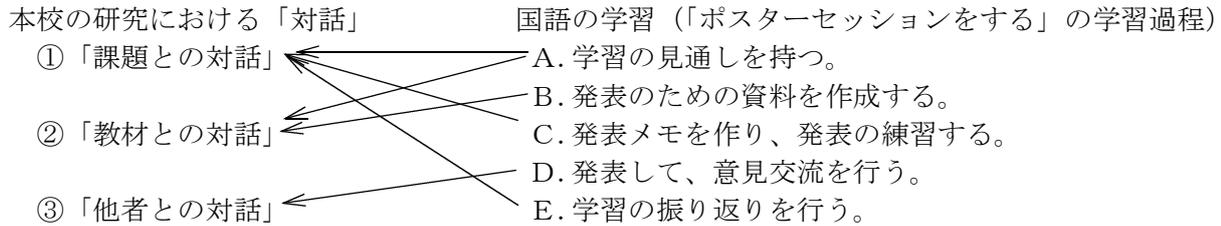
本単元は、社会科の調べ学習で作成したポスターを使ってポスターセッションを行う。教科横断的な指導の視点から、社会科の資料活用と国語科の調べて書く活動を関連させて指導することで、生徒の活動時間を保障し、思考力や表現力を育成したい。

ポスターセッションは、聞き手の反応を見ながら、表現を言い換えたり、もう一度伝えたりと聞き手に応じた分かりやすい話し方が求められる。また、少人数での情報のやりとりになるため、聞き手も聞き返したり、質問をしたり、感想を述べたりしやすい。

どの生徒も自信を持ってポスターセッションに臨むことができるように、発表の準備に十分時間を取るとともに、聞き手として積極的に意見交流させ自分の考えを深めさせたい。

3 本校の研究との関連

共に学び、共に育ち合う子供の育成 ～「対話」を重視した授業づくりを通して～



本校の国語科における「対話」とは、グループ学習での学び合いや全体での話し合いなどが「他者との対話」、課題や教材を通して自分自身と向き合い、自分自身の考えを持つことが「課題との対話」「教材との対話」であると捉える。このような三つの「対話」を学習過程に取り入れることで、自分の思いや考えを広げ深めていくことができると考える。

4 単元の指導計画

(1) 単元の目標

- ①説明や交流に関心をもち、ポスターにまとめた事柄を発表したり、発表を聞いて考えを深めたりしようとする。【関心・意欲・態度】
- ②相手の反応を踏まえながら、ポスターの内容や自分の考えが分かりやすく伝わるように発表することができる。【話すこと・聞くこと（1）ウ】
- ③必要に応じて記録したり質問したりしながら発表の内容を捉え、メモなどを基に、自分の考えをまとめることができる。【話すこと・聞くこと（1）エ】
- ④事象を表す語句について理解することができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
①説明や交流に関心をもち、ポスターにまとめた事柄を発表したり、意見交換したりしようとしている。	①相手の反応を踏まえながら、ポスターの内容や自分の考えが分かりやすく伝わるように発表している。 ②必要に応じて記録したり質問したりしながら発表の内容を捉え、メモなどを基に、自分の考えをまとめている。	①事象を表す語句について理解して発表や意見交換で使っている。

- (3) 課題解決的な単元構想
単元名 ポスターセッションをする (全5時間)
アジア州について調べたことを報告しよう

〈単元を通して身に付けさせたい事象〉

- ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。
- ・必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。



4 発表を振り返って話し合う (5/5)

ポスターセッションを振り返り、分かりやすい発表について考えよう。

- ・「発表者」「聞き手」として、自分たちの発表や他グループの発表、交流の時間を振り返りよい点や改善点などを考える。
- ・聞き手がわかりやすい発表とは、また、よい聞き手とはどんな聞き手かを話し合う。



3 ポスターセッションをする (本時4/5)

工夫して分かりやすい発表しよう。
関心を持って発表を聞こう。

- ・聞き手にとって分かりやすい発表を工夫して行う。
- ・説明の要点や感想などをメモに取りながら聞き、質問や感想を述べる。



2 発表の準備・練習をする (2/5・3/5)

分かりやすい発表になるように、話し方を工夫して練習しよう。

- ・ポスターセッションの流れを確認し、分担を決めて発表メモを作る。
- ・分かりやすい発表になるように、聞き手を見ながら話したり、指示棒や補足資料などを使って説明したりできるように、工夫して発表の練習(リハーサル)を行う。



1 学習の見通しを持つ (1/5)

調べたことをポスターにまとめ発表しよう。

- ・学習の見通しをもつ。
- ・ポスターセッションについて確認する。



社会科

アジア州について調べよう。



【これまで学習した関連単元】 「好きなもの」を紹介しよう スピーチをする
わかりやすく説明しよう 観点を立てて書く

- 【小学校との関連】
- | | |
|-----|----------------------------|
| 低学年 | ・事物の説明や経験の報告をする。 |
| | ・知らせたいことを身近な人に紹介する。 |
| 中学年 | ・出来事の説明や調査の報告をする。 |
| | ・図表や絵、写真などから読み取ったことをもとに話す。 |
| 高学年 | ・資料を提示しながら説明や報告をする。 |
| | ・事物や人物を推薦する。 |

5 本時の指導

(1) 本時の目標

工夫して分かりやすい発表を行い、関心をもって発表を聞く。(話す・聞く)

(2) 本時の指導観

発表するときは、聞き手を見ながら分かりやすく話すことを心がけさせたい。聞き手の反応によって言葉を言い換えたり別の資料を示したりするなど、伝えたいことがきちんと伝わるように話し方を工夫させたい(他者との対話)。また、想定される質問については答えを準備しまとめておく(前時までの活動 教材との対話)ことで、交流の時間の質疑応答が活発にできるようにさせたい。

聞くときは、うなずいたり首をかしげたりして反応することを心がけさせたい。発表の要点や疑問、感想などをメモに取り、交流の時間に積極的に質問したり感想を伝えたりする(他者との対話)ことで考えを深めさせたい。

(3) 展開案

段階	学習内容	学習活動	*指導上の留意点 <>対話 □評価
導入 5分	1. 学習の目標、本時の授業の手順の確認 2. ポスターセッションの流れ・留意点の確認 3. 学習課題の確認	1. 前時に準備・練習したことを基に、ポスターセッションを行うことを確認する。 2. ポスターセッションの流れや留意点を確認する。 3. 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">発表者 工夫して分かりやすい発表をしよう。 聞き手 関心を持って発表を聞こう。</div>	* ポスターセッションの流れや留意点を電子黒板で提示する。 <課題との対話> 「発表者」・「聞き手」としての自分の目標を確認することで、ポスターセッションに主体的に参加できるようにする。
展開 40分	4. ポスターセッション	4. ポスターセッションを行う。 (1)初めに各グループの予告を30秒程度行う。 (2)それぞれの発表場所に移動して、発表の準備をする。 (3)準備ができたら聞き手が聞きたいグループの前に移動する。 (4)時間を計り、4分程度発表する。 (5)質疑応答などをして、4分程度交流を行う。 (6)同様に前半2回目を行う。聞き手は違うグループに移動する。 (7)発表者と聞き手を交代して、後半も2回行う。	<他者との対話> 発表するときは、聞き手の反応を確かめながら話し、伝わっていないと感じた時は聞き手に問いかけたり言葉を言い換えたりするなど工夫させ、分かりやすい発表ができるようにする。 聞くときは、発表者の顔を見てうなずくなど反応しながら聞くようにさせるとともに、要点や感想などをメモに取らせ、交流の時間に積極的に発言できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">工夫して分かりやすい発表をすることができたか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">関心を持って発表を聞くことができたか。</div>
終末 5分	5. 振り返り 6. 次時の予告	5. 本時の授業を振り返る。 6. 次の時間は、単元のまとめとして、わかりやすい発表について考えることを確認する。	<課題との対話> 具体的な評価の観点を示して、目標を達成できたか自己評価できるようにする。

(4) 板書計画

ポスターセッションをする

アジア州について調べたことを報告しよう

学習課題

発表者 工夫して分かりやすい発表をしよう。

聞き手 関心を持って発表を聞こう。

【ポスターセッションの流れ】

予告 前半に発表するグループが、発表の予告をする。

移動 発表者はポスターの前で待ち、発表の準備をする。

聞き手は、聞きたいグループの前に移動する。

発表 発表者が、ポスターや補足資料を使って説明する。

交流 質疑応答などを行い、発表者と聞き手とで意見を交換する。

移動 聞き手は別のグループの前に移動する。

※ 一・二回目の発表が終わったら、聞き手と発表者を交代し、後半に移る。

振り返り

工夫して分かりやすい発表ができたか。

関心を持って発表を聞くことができたか。